

令和7年2月28日

千葉公園やすらぎゾーン地域住民説明会 ご質問・ご意見に対する回答

- 開催日時 : 令和6年12月13日(金) 19:00~20:15
- 開催場所 : 千葉市生涯学習センター 大研修室
- 参加人数 : 40名
- 当日質問者数 : 8名
- 後日質問者数 : 15名

(1)やすらぎゾーン全体について

①Q 公園内が防犯上安全となるように、暗くならないようにしてほしい。

A 公園内が暗くならないように、照明灯の設置については、基準を踏まえ照度計画を検討していきます。

②Q 令和6年4月にリニューアルオープンした「芝庭」のようなキレイでおしゃれという場所ではなく、今までのように季節を感じることができ、安心、安全で遊べる公園にしてほしい。

A 施設等の更新は行いますが、機能が大幅に変わることはございません。季節を感じられるような空間にしていきます。

③Q 駐輪場をつくってほしい。

A やすらぎゾーン内に1つ以上は、設置をする方向で配置場所等を検討していきます。

(2)エントランスエリアについて(令和7年度整備予定エリア)

①Q エントランスエリア西側の道路と公園の境界について、樹木を間引くことにより、子供の飛び出しが増加することを危惧している。何かしらの対策をしてほしい。

A 飛び出し防止となるよう安全対策について検討していきます。

②Q ベンチがほしい。

A 特徴のあるベンチを含めて必要な数を設置する予定です。ベンチの形状については目的外に利用されないように配慮していきます。

③Q 隣接するマンション居住者専用の出入口を設置する予定はありますか。

A 公園とマンションの境界に出入口を設置する計画はありません。

④Q グリーンインフラ*を取り入れることで想定される能力について知りたい。

A 本エリアでは現在排水計画を検討中ですが、基本的に雨水は、エリア内で処理すること

を目標としています。

※グリーンインフラとは

今回の設計では、雨水を浸透させる仕組みとして用いています。地上に降った雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させる植栽空間としています。

- ⑤Q小さな子の自転車練習などをしている姿も見られるが、現状程の平らでまっすぐな道があった方が良いのでは。

Aエリアの方針である、園内をゆっくりと散策をするための園路として緩やかな曲線としました。

- ⑥Q緑陰が欲しい。

A暑さ対策や景観面等においても重要と考えておりますので、これまでと同様の緑陰を確保できるような植栽計画としていきます。

- ⑦Q具体的にどの木がどういった理由で伐採されるのか、教えてほしい。

A「園路整備に支障となる」、「既に枯れている」、「樹勢低下等により枯死の可能性がある」、「混みあっている」などの理由により必要最低限の樹木を伐採予定です。伐採予定の樹木については、現地に青いテープを巻きつけてあります。現地をご確認いただけますと幸いです。なお、伐採した本数と同数以上の樹木をやすらぎゾーンの再整備区域内で新規に植栽していきます。

(3) 忠霊塔について

Q忠霊塔区域の再整備の予定はありますか。

A忠霊塔エリアについては具体的な整備予定はありませんが、忠霊塔を管轄している県の方針を踏まえて今後検討していきます。

(4) 園内道路

Q廃止の有無について

A説明会では反対のご意見もございましたが、説明会終了後に参加者からいただいたご意見では、園内道路廃止に賛同するご意見が多数ありました。

今回の説明会でいただいた様々なご意見や消防・警察等関係機関の意見を参考に、引き続き園内道路の取り扱いについて検討していきます。

(5) トイレ

Q位置はどこになるか。

A2つの候補地を基本とし今回の説明会でいただいたご意見を踏まえて検討を進めてい

きます。

Q男女別の個室をつくってほしい。

A男女別の個室を設置できるように検討していきます。

(6) 説明会について

Q千葉市全域の市民の声をしっかり聞いてほしい。再度、広く周知して同じ内容で説明会を行うべき。

Aお知らせの対象は、基本的に今回と同様に地域住民を対象とすることを想定しています。

今のところ同じ内容での説明会は予定しておりません。

今後も設計等の進捗に応じて、具体の整備内容の調整を目的とした説明会を実施していく予定です。

なお、千葉公園全体の再整備の方向性は、令和元年度の「千葉公園再整備マスタープラン」策定の際に広く市民意見をいただいております。